

令和6年度 政策チェックアップ評価書

施 策 目 標 : 17 自動車の安全性を高める

施策目標の概要及び達成すべき目標

交通事故死者数を削減するため、安全な自動車の普及を達成すべき目標として、自動車の安全基準の拡充・強化、先進安全自動車（ＡＳＶ）の開発・実用化・普及を促進する。

業績指標

指標番号	業績指標名
53	乗用車の衝突被害軽減ブレーキ（交差点対応）の装着率
54	乗用車の対自転車衝突被害軽減ブレーキの装着率 *

業績指標の分析

(53) 乗用車の衝突被害軽減ブレーキ（交差点対応）の装着率

目標達成状況の評価		N					
	初期値	実績値					目標値
	R 5 年	R 2 年	R 3 年	R 4 年	R 5 年	R 6 年	R12 年
実績値	41.6%	—	10.2%	22.0%	41.6%	集計中	90%
年度ごとの 目標値		—	—	—	—	49.7%	
（事務事業等の実施状況） ・産学官の連携による先進安全自動車（ＡＳＶ）プロジェクトの推進 令和３年度から令和７年度までを第７期ＡＳＶ推進計画とし、令和５年度に開催された検討会において、衝突被害軽減ブレーキの対応場面の拡大等を議論し、本装置の開発の促進を図った。 ・高齢運転者等による事故防止対策の推進 令和５年度においては、衝突被害軽減ブレーキ等の安全技術を搭載した先進安全自動車について、他省庁、関係団体等と連携し、動画作成・公開等を行い、先進安全自動車の普及啓発を図った。 ・自動車アセスメント情報の提供 業界との協議を経て、自動車アセスメントのロードマップに衝突被害軽減ブレーキ（交差点対応）を追加の上、令和６年より自動車アセスメント評価及びその結果の公表を開始し、本装置の普及促進を図った。							
（その他の外部要因の状況） —							
（目標の達成状況に関する分析） 令和６年の実績値は集計中であり、初期値以降の実績値がなく判断できないことから、Nと評価した。なお、令和３年の実績値が１０．２％、令和４年の実績値が２２．０％、令和５年の実績値が４１．６％と順調に伸びており、また、特段の外部要因等もなかったことから、令和６年の実績値は令和６年の目標値である４９．７％を超えると見込まれる。							
（課題の特定） —							

(54) 乗用車の対自転車衝突被害軽減ブレーキの装着率 *

目標達成状況の評価 A

	初期値	実績値					目標値
	R 4 年	R 2 年	R 3 年	R 4 年	R 5 年	R 6 年	R 8 年
実績値	60.1%	12.7%	47.9%	60.1%	72.0%	集計中	90.0%
年度ごとの 目標値		—	—	—	67.6%	75.1%	

(事務事業等の実施状況)

・自動車の技術・基準の国際標準化等の推進

令和 3 年に日本主導で国際基準を策定。同基準を国内基準に導入し、令和 6 年 7 月以降の新型車から対自転車衝突被害軽減ブレーキの搭載を順次義務付け、対自転車衝突被害軽減ブレーキの普及促進を図った。

・自動車アセスメント情報の提供

業界との協議を経て、自動車アセスメントのロードマップに対自転車衝突被害軽減ブレーキを追加の上、令和 4 年より自動車アセスメント評価及びその結果の公表を開始し、本装置の普及促進を図った。

・高齢運転者等による事故防止対策の推進

衝突被害軽減ブレーキ等の安全技術を搭載した先進安全自動車について、他省庁、関係団体等と連携し、動画作成・公開等を行い、先進安全自動車の普及啓発を図った。

(その他の外部要因の状況)

—

(目標の達成状況に関する分析)

令和 4 年当初は装着率 60.1% (総生産台数 318 万台中 191 万台) であったが、令和 5 年時点で 72.0% (総生産台数 367 万台中 264 万台) と、目標に向けて順調に推移しており、また、特段の外部要因等もないことから、目標年度に目標値を達成すると見込まれるため、A と評価した。

(課題の特定)

—

評価結果
（目標達成度合いの測定結果） ③ 相当程度進展あり
（判断根拠） 業績指標 2 個のうち、A が 1 個、N が 1 個であって、業績指標 53 の最新実績値は集計中であるが、過年度の実績値等から引き続き順調に推移することが見込まれ、主要な指標である業績指標 54 は目標値に向けて順調に推移していることから、「③ 相当程度進展あり」と評価した。
（施策全体の総括分析・今後の取組の方向性） 衝突被害軽減ブレーキ等に代表される先進安全技術は、交通事故削減・被害軽減に大きく貢献すると考えられるが、開発コストや搭載車両の価格が高く、開発や普及が進みにくいといった課題がある。これまで実施してきた、ASV プロジェクトを通じた先進安全技術の開発促進、自動車アセスメントによる情報提供、動画等を活用した普及啓発活動、搭載の義務化等は、こうした課題に対応し、達成すべき目標へ有効かつ効率的に寄与してきたと考えられる。さらなる先進安全技術を搭載した自動車の普及促進を目指し、より効率的な施策について引き続き検討を行う。

外部有識者のコメント
順調に普及が進み始めていると言ってよいが、前年度の実績がない項目があることには留意する必要がある。ASV にはさまざまな機能が含まれるため、今回ピックアップしたものに限らず、各機能を必要とする属性に着目するなど、より効果的に利用を促せるよう評価していくことが望まれる。（国土交通省政策評価会 鈴木 美緒）

評価実施時期
令和 7 年 8 月

担当部局名・作成責任者名
・施策目標 17 物流・自動車局技術・環境政策課 課長 猪股 博之
・業績指標 53 担当課：物流・自動車局技術・環境政策課（課長 猪股 博之）
・業績指標 54 担当課：①物流・自動車局技術・環境政策課 （課長 猪股 博之） ②物流・自動車局車両基準・国際課 （課長 小磯 和子）

関連事務事業等

番号	事業名	予算事業 ID
1	自動車の安全基準の策定	003777
2	車両の安全対策	004197
3	独立行政法人自動車技術総合機構運営費交付金	004198
4	独立行政法人自動車技術総合機構施設整備費	004199
5	先進安全自動車（ASV）プロジェクトの推進	007306
6	高齢運転者等の事故防止対策の推進	007307
7	自動運転（レベル4）法規要件の策定	007308
8	「特定小型原動機付自転車」（電動キックボード等）の車両安全対策の推進	007309

参考指標の達成状況

施策目標：17 自動車の安全性を高める

参考指標

(参 76) ワンストップサービス対象の継続検査のワンストップサービス利用率

	初期値	実績値					目標値
	R 元年度末	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 8 年 3 月
実績値	33%	44%	51%	57%	64%	68%	90%
年度ごとの 目標値		90%	90%	90%	90%	90%	

(参 77) 中間登録（変更登録・移転登録・抹消登録）のワンストップサービス利用率

	初期値	実績値					目標値
	R 元年度末	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 8 年 3 月
実績値	1.1%	1.2%	2.2%	2.5%	3.1%	4.0%	20%
年度ごとの 目標値		20%	20%	20%	20%	20%	

(参 78) 自動車登録検査業務電子情報処理システム被災時訓練における事前設定課題の達成度

	初期値	実績値					目標値
	R 2 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
実績値	9 %	9 %	86%	68%	88%	98%	100%
年度ごとの 目標値		—	100%	100%	100%	100%	

担当部局名・作成責任者名

・参考指標 76、77、78

担当課：物流・自動車局自動車情報課（室長 村井 章展）

業績指標登録票

【 政 策 目 標 】	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保		
【 施 策 目 標 】	17 自動車の安全性を高める		
【 業 績 指 標 】	(53)乗用車の衝突被害軽減ブレーキ(交差点対応)の装着率	業績目標	
		初期値 (基準年度)	目標値 (目標年度)
		41.6% (令和5年)	90% (令和11年)
【 指 標 の 定 義 】 1年間に生産される乗用車のうち、乗用車の衝突被害軽減ブレーキ(交差点対応)が装着される車両台数の割合。 分母:総生産台数(R5年:3,668,806台) 分子:乗用車の衝突被害軽減ブレーキ(交差点対応)が搭載された車両の生産台数(R5年:1,526,439台)			
【目標設定の考え方・根拠】 車両安全対策の一環として乗用車の衝突被害軽減ブレーキ(交差点対応)の普及促進を図り、過去の装着台数実績より令和11年度までに90%の装着台数が見込まれるものとして設定したもの。			
【 外 部 要 因 】 交通安全思想の普及状況等			
【 他 の 関 係 主 体 】			
【 重 要 政 策 】 ・第11次交通安全基本計画(令和3年3月29日)			
【 備 考 】			
【 担 当 課 】	物流・自動車局技術・環境政策課		
【 関 係 課 】			

業績指標登録票

【 政 策 目 標 】	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保		
【 施 策 目 標 】	17 自動車の安全性を高める		
【 業 績 指 標 】	(54)乗用車の対自転車衝突被害軽減ブレーキの装着率*	業績目標	
		初期値 (基準年)	目標値 (目標年)
		60.1% (令和4年)	90.0% (令和8年)
【 指 標 の 定 義 】 1年間に販売される乗用車のうち、対自転車衝突被害軽減ブレーキの装着率。 分母:総生産台数(R4年:3,179,716台) 分子:対自転車衝突被害軽減ブレーキが搭載された車両の生産台数(R4年:1,910,954台)			
【目標設定の考え方・根拠】 これまでの衝突被害軽減ブレーキ(対車両及び対歩行者が中心)の普及の実績も踏まえつつ、今後の取組を見込んで設定したもの。			
【 外 部 要 因 】 交通安全思想の普及状況等			
【 他 の 関 係 主 体 】			
【 重 要 政 策 】 ・第11次交通安全基本計画(令和3年3月29日)			
【 備 考 】			
【 担 当 課 】	物流・自動車局技術・環境政策課		
【 関 係 課 】			